

発行:2026年4月15日

「SUPER GT 第1戦 岡山」にて DUNLOP 装着車両が GT300 クラス優勝

DUNLOP（社名：住友ゴム工業(株)、社長：國安恭彰）は、4月11日～12日に岡山国際サーキットで開催された国内最高峰のモータースポーツシリーズ「2026 AUTOBACS SUPER GT」第1戦において、DUNLOP タイヤを装着した車両が GT300 クラスで優勝しました。



GT300 クラス優勝を果たしたドライバーと総監督
(左から、藤井誠暢選手/佐々木主浩総監督/ Charlie Fagg 選手)

今シーズン、当社は GT500 クラスおよび、GT300 クラスあわせて計 5 チームにレーシングタイヤを供給しています。GT300 クラスでは、DUNLOP タイヤを装着した D'station Vantage GT3 (777 号車) が、予選でポールポジションを獲得し、決勝でもその速さと安定感を遺憾なく発揮しました。スタートからフィニッシュまで一度も首位を譲ることなく、ポール・トゥ・ウィンという完璧なレース運びで、開幕戦で優勝を制しました。



「D'station Vantage GT3 (777 号車)」レースの様子

決勝レースは、気温 25℃、路面温度 40℃という初夏を思わせる厳しいコンディションの中、300kmにわたるタフな戦いとなりました。777号車はオープニングラップからレースを主導し、安定したハイペースでトップをキープしました。

30周目のピットインにより一時的にポジションを落としたものの、交換後のフレッシュな DUNLOP タイヤが発揮する高いグリップ力と優れた安定性を武器に力強く追いつき、全車がピット作業を終えた 53 周目に再びトップへ浮上しました。その後は後続との差を着実に広げ、首位のままチェッカーフラッグを受けました。



1位でチェッカーを受ける D' station Vantage GT3 (777号車)

今回の勝利は、高温かつ長距離という過酷な条件下においても安定したパフォーマンスを発揮する DUNLOP レーシングタイヤの信頼性と競争力の高さを示す結果となりました。DUNLOP は今後も、モータースポーツ活動を通じて培った技術を製品開発へとフィードバックし、さらなる性能向上を追求してまいります。

2026年より当社はコミュニケーションブランドを「DUNLOP」に統一しました。DUNLOP は「挑戦を支える安心」「期待を超える体験」「限界への挑戦」という3つの提供価値を軸に、あらゆるフィールドで革新的な価値を創出していきます。ブランドステートメント「TAKING YOU BEYOND」には、挑戦するすべての人々の限界を押し広げ、その先の世界へと導く存在であり続けるという強い意志を込めています。

 **DUNLOP**
TAKING YOU BEYOND

以上

＜商品・イベントに関するお問い合わせ先＞

タイヤお客様相談室 [TEL:0120-39-2788](tel:0120-39-2788)